

令和6年度 第3回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和7年3月13日(木)
午後1時58分～2時36分
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、藤谷 昌代、坂田 恭子、長坂 貴美子、横井 定、桑山 桂子、
月村 正
欠席委員 内田 英伸、伊藤 浩樹、小川 昌悟
事務局 足立経済環境部長、佐藤資源対策課長、川口主幹、後藤主幹、野村主任、
柴田主任
オブザーバー 森田経済環境部次長兼環境保全課長、吉川環境施設課長

●開会

課長 令和6年度第3回稲沢市廃棄物減量等推進審議会を始めさせていただきます。
前回の審議会で諮問いたしました議題に対します答申書を皆様のお手元に置かせて
いただいておりますので、よろしくお願いいたします。
審議会の開催にあたり、あいさつをお願いいたします。

●あいさつ

部長 (あいさつ)

会長 (あいさつ)

課長 それでは、議題に入らせていただきます。ここからの議事の進行は、審議会条例第
5条第3項の規定により、足立会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いしま
す。

●議題1「令和7年度稲沢市一般廃棄物処理実施計画について」

会長 それでは議題1「令和7年度稲沢市一般廃棄物処理実施計画について」を議題とし
ます。事務局から説明をお願いします。

事務局 説明 <資料1>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見はございませんか。

長坂委員 稲沢市子ども会連絡協議会から出席しているのですが、資料の2ページの「カ」に
ついて、行政区で行っている集団回収は活動前に団体の登録が必要となると思います

が、現在どれくらいの子ども会が登録していますか。

事務局 令和6年度の集団回収の登録団体は81団体です。そのうち子ども会の登録は37団体です。その他、町内会、PTA、老人会、父母の会、小中学校の団体の登録があります。

長坂委員 付随してですが、今、子ども会の団体、市子連に登録している子ども会はだんだんと縮小しています。市子連に所属せず子ども会活動をしている団体もいるとは聞いています。

市子連では新年度の会合で集団回収の説明をしています。市子連に所属していないとその説明会に参加できません。市子連に所属していない子ども会が集団回収活動をしたい場合は直接市に問い合わせするのでしょうか。

事務局 お見込みのとおりで、直接問い合わせをしていただければご説明いたします。

長坂委員 それでは集団回収の問い合わせがありましたらそのように案内します。

事務局 集団回収の団体登録につきましては、市子連に登録している団体以外にも、前年度までの実績がある団体にはご案内をしています。

また、市子連に登録していない団体からも年に1、2件問い合わせをいただいています。

坂田委員 出前講座の実施について、昨年度祖父江小学校では親子で参加する出前講座を実施しました。環境に対して親子で理解を深める良い機会と思いました。

環境に対する意識を高めていくうえで、出前講座に参加する学校が一つでも増えれば良いと考えています。出前講座を実施した学校数と、どのような内容で実施したか教えてください。

事務局 昨年度は祖父江小学校、老人会、町内会で合計3件の依頼がございました。今年度は9月に牧川小学校、11月に六角堂の老人会の2件の出前講座を実施しました。

シティプロモーション課が出前講座の担当窓口となっております。資源対策課ではごみの減量、リサイクルをテーマにした出前講座を実施しておりますので、申込いただければと思います。

横井委員 毎年2回ほど市民病院の出前講座の依頼をしています。資源対策課の実施するごみの講座というのは具体的にどのような内容なのか概要を教えてください。

事務局 ごみの減量を中心に、その他要望に沿って講座を実施しています。

例えば「地区で分別ができていないから分別方法について教えてほしい」と要望があれば、分別に関する内容で講座を実施します。

昨年度に実施した祖父江小学校の出前講座では、分別ゲームを実施して親子で分別方法をゲーム感覚で学びました。また、昨年度はごみ分別アプリを導入したことで、出前講座にてスマートフォンへのアプリのインストールのサポートをしました。テーマを提示していただければ、希望に沿った講座をします。

横井委員 出前講座は1時間程度を目安とすればよろしいでしょうか。

事務局 1時間から1時間半程度を目安としています。

●議題2「その他」

会長 次に、議題2「その他」ですが、事務局から何かございますか。

事務局 事務局からは2点ご報告がございます。
説明・質疑は1項目ごとに行いますのでよろしくお願いいたします。1点目について、担当からご説明申し上げます。

事務局 <1点目、ペットボトルの水平リサイクルに関する協定締結について>

会長 説明が終わりました。委員の皆さんの御意見はございませんか。

(なし)

会長 それでは、次の報告をお願いします。

事務局 <2点目、令和6年度 プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業について>

会長 説明が終わりました。御意見はございますか。

横井委員 90%プラの回収基準の意味が分かりづらいのではないのでしょうか。

事務局 90%プラの回収基準は、ご指摘のとおり分かりづらい部分があります。90%プラは見た目では90%程度のプラスチックで構成されているものを想定しています。具体的にはネジやバネ部品があるものを想定しています。リサイクルをする上では、ある程度の金属や異物が入っていても問題はありますが、回収時にリチウムイオン電池が混入するのを懸念しています。

100%プラの回収基準では回収の制約が厳しくなり、市民のプラスチック排出に支障が出る可能性があります。

今回、組成調査とアンケートを実施して、90%プラと100%プラのどちらが出しやすいか検討をしました。90%プラの回収基準が分かりづらいとの意見があることは想定しており、アンケートにもそのような意見はありました。90%プラで導入する際には、具体的な90%プラ製品の品目の列挙や、丁寧な住民説明会を実施して、回収のルールを浸透させていくこととなります。

横井委員 90%プラ製品の具体的な品目とはどのようなものでしょうか。

事務局 ボールペン、おもちゃ、部品止め程度のネジを想定しています。ほんの少しでも異素材が使用されていれば90%プラとします。ただし、90%プラの認識は人によって感覚が異なりますので共通の認識を周知する必要があります。

今回の実証実験のチラシでも、ネジ、バネ程度の部品が含まれているものを対象としています。こちらについては分かりづらいという意見がアンケートの回答でありましたので、90%プラという名称の変更等についても検討する必要があります。

会長 分別については普段から気にしている方と、一般の方では意識が違いますので、分かりやすくすることと、一般の方の意見を取り入れることが必要だと思います。

先に話がありましたとおり、リチウムイオン電池が含まれている製品が混入することを懸念しています。このような禁忌品についての例示があれば良いと思います。説明は以上ですが、その他意見はありますでしょうか。

横井委員 水平リサイクルとは、ペットボトルをペットボトルにするという認識でよろしいですか。

事務局 お見込みのとおりで、回収したペットボトルを新しいペットボトルにリサイクルします。水平リサイクルは通常のリサイクルの工程より洗浄や異物除去の工程が増加します。現在稲沢市が売却している工場ではなく、専門設備を持っている工場に次年度以降は搬入することになります。水平リサイクルは新しく原材料を使用するより約60%のCO2排出量を削減でき、石油由来原料の節約にもなります。このような主旨が「リサイクルの見える化」として市民に伝われば良いと考えます。ペットボトルの回収量が増えればゴミの減量と、奨励金交付によって地域振興にもつながります。各種メリットを強調して市民に周知したいと考えています。

会長 スーパーで回収したペットボトルは水平リサイクルとして取り扱われますか。

事務局 スーパーで回収するペットボトルの取り扱いには事業者の判断によりますが、水平リ

サイクルでの回収を実施している事業者はあります。

市のペットボトル水平リサイクルの対象は、分別収集、地域ステーション、環境センターで回収したペットボトルとなります。

会長 その他、意見はありますか。無いようですので、以上で本日の議題は全て終了させていただきます。皆様の御協力ありがとうございました。それでは進行を課長にお戻しいたします。

課長 足立会長、ありがとうございました。今回の審議会では、まずはプラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業に参加したことをお伝えし、今後は市民に分かりやすい形で導入していくことを目指すことが資源対策課としての考えです。

本年度の審議会は以上となります。次年度第1回の審議会の開催は、6月開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

●閉会